

# 木更市制施行80周年記念事業実行委員会会議録

令和4年4月20日作成

会議名	第2回 木更津市制施行80周年記念事業実行委員会		
開催日	令和4年4月20日(水)	場所	駅前庁舎 防災室・会議室
時間	13時30分～15時00分まで		
出席者	実行委員会委員) 別紙名簿のとおり 事務局) 企画部：渡辺企画部次長、水谷企画課長、影山企画課長補佐、平野主事		
議題	(1) 記念事業計画(案)について (2) 収支予算(案)について (3) 冠称事業について (4) その他		
その他	(1) 木更津みなとぐちアートプロジェクト2022(MINART)について (2) 寄付の採納について		
配付資料	会議次第 1-1 記念事業計画(案) 1-2 記念事業計画一覧(案) 1-3 記念ロゴマーク(案) 2 収支予算(案) 3 冠称事業実施要領 4 木更津みなとぐちアートプロジェクト2022(MINART)について 5 寄附採納に係るプレスリリース		
概要	議題(1) 記念事業計画(案)について 【説明】 ●水谷企画課長説明 (資料1-1、1-2、1-3に沿って説明) 市制施行80周年という記念の年を、これまでの歩みとこれからを結ぶ都市と位置付け、市民を初め、地域、企業、各種団体、行政等が、市のまちづくりの担い手として連携し、新たな未来に向けて、さらなる飛躍発展、躍動の契機とするため、実施することとし、シビックプライドの醸成、未来ビジョンの共有、及びパートナーシップの実現を基本方針として実施することとする。 まず、実行委員会が主催となって実施する、実行委員会実施事業の概要についてご説明する。 (1) 記念式典部会の事業について ◎記念式典 市政発展へ貢献された方々への表彰や大きな節目を祝うセレモニーとして、また、100周年を見据えた未来へのまちづくりビジョンを示す場として実施する。日時は令和4年11月3日(祝) 午前10時から。会場はかずさアカデミアホール (2) 未来ビジョン部会の事業について ◎きさらづ未来会議 木更津市が市制施行100周年を迎える2042年を見据え、「住みたい」、「住み続けたい」、「働きたい」、「訪れたい」まちの未来像とその実現に向けた道筋を描き、みんなで共有することで、持続可能なまちの実現をめざすことを目標とし、高校生や、40代半ばまでの社会人に加え、地域社会・経済を担い活躍しているメンバーによるワークショップを実施する。 今後の展開としては、既に広報きさらづ、市公式ホームページ等により参加者を募集しているところだが、今後はワークショップのリーダー格候補等に個別にアプローチするほか、市内各高校、大学等へ参加者の推薦依頼を行っていく予定。未来会議は5月に第1回目の開催を予定していて、目指すべき木更津市の未来像、20年後の木更津市の姿をテーマに、各グループが取		

りまとめた提言内容を元にプレゼン動画を制作し、11月3日の記念式典会場にて動画配信により発表を行う。

(3) プロモーション部会の事業について

◎記念誌等制作事業

市民、地域企業、各種団体と行政とのパートナーシップによるまちづくりの機運醸成を図ることを目的に、記念誌や記念品等を制作する。

(ロゴマークについて資料1-3により説明)

80周年を記念したきさぽんロゴマークを案としてご用意した。80周年を意味する「80」と、市マスコットキャラクター「きさぽん」で構成されており、「80」の配色は、LGBTを象徴するレインボーフラッグの6色を使用し、80周年事業の基本方針である、「パートナーシップ（共生社会）の実現」について表現している。また、「80」の部分は「∞（無限大）」となっており、人と人のつながりは無限大、そして木更津市の未来も無限大という意味を込めて制作している。現状の案としてお示した本デザインは、事業計画とともにご承認いただけた後は、周年事業の周知やロゴデザインとして広く活用していただきたいと考えており、冠称事業において本デザインを使用していただくなど、80周年の統一的なアイコンとして活用したいと考えている。

(今後の展開)

市勢要覧については、5年に1度発行しているものだが、今回、市民が日常生活を送る上で必要となる行政情報を満載し、現在、市内全戸に配布している「暮らしの便利帳」の改訂版との合併号として刊行する。

記念品については、式典参加者の方へ配布する80周年の記念となるものについて制作するため、現在品物の選定検討を進めている。

◎80周年記念動画制作及び情報発信事業について

記念動画制作については先ほどご説明した、きさらづ未来会議でのプレゼン動画を含め、100周年を見せる形での、木更津市をPRする映像制作に取り組む。また、市制施行80周年の周知と、市民や団体などの事業参加への機運を高め、シティセールスに繋がるよう、内外へ効果的な情報発信を行っていく。

(4) RUNイベント部会の事業について

これまで積み上げてきた「スポーツを通じたまちづくり」を、さらなる飛躍の基盤とするため、地域の様々な主体と連携し、毎年開催している「木更津ブルーベリーRUN」にあわせたイベントを開催する。時期は11月頃、会場は未定。

(5) CYCLEイベント部会の事業について

サイクリングに対する気運の醸成を図るため、きさらづスポーツコミッション等と連携し、サイクルイベントを開催する。今後イベントの内容やアトラクションについて検討していく。

(6) きさらづコレクション部会の事業について

市内の子どもたちへ「夢」や「希望」を与える機会とするとともに、「ふるさと木更津」に対する愛着を育成するほか、より多くの人に関わり、一つのものを作り上げる喜びや達成感を味わうことにより、「共生社会の実現」を目指し、市内在住のデザイナー鶴田氏（TENBOデザイン事務所）監修のもと、市内在住・在学の児童生徒による「ファッションショー」を開催する。今後は、モデルやMC、デザイン画を小中学生から募集し、木更津東高校の生徒、先生方に衣装を制作していただく。時期は、11月3日（祝）16時から、会場は、鳥居崎海浜公園を予定。

以上が実行委員実施事業の概要について。

続いて事業計画の一覧及びスケジュールについて。市実施事業としては20事業、市民実施事業は24事業を現状予定している。

(資料1-2により説明)

【質疑応答・意見等】

- ① 各部会について、部会長は市の部長クラスが務めることになっていて、その下の部会委員など、部会の組織についての内容について伺いたい。
- 第一回実行委員会の際に部会一覧をお配りし、各部会には、部会長、副部会長、部会の庶務担当として、各担当部などをお示ししたが、部会長については密接に関わりがある部長が先導し、指示を出すというような責任者というような位置づけになっている。また、部会の庶務担当課が、この部会長のお膝元の実行部隊というような位置づけとなっている。
  - 我々、実行委員会の委員はその部会には属さなくてよいということによいか。
  - 基本的に、部会の中に組み込まれている、というわけではない。ただ、事業を進めていく中で、関わっていただくこともあり得る。例えば、式典部会であれば、かずさFMさんやJ：COMさんとかに関わっていただくことになるかもしれない、またスポーツイベント関係ではスポーツ協会さんに関わっていただく可能性はある。
- ② 環境関係について一つ要望ということで、ゼロカーボンシティを宣言しているわけだし、何か環境についての要素が一言入っていたほうがいいかなと感じる。きさらづ未来会議でもいいし、オーガニック推進課との関係でも、オーガニックシティとゼロカーボンシティも関係が非常にあると思う。今後のことを考えるなら、ワード的なこともそうだが、実行に結び付けたほうがいいかなと考える。
- ご指摘のとおり、一覧表の中に特に環境をキーワードとしたものが存在していない。ただ、例えば、未来ビジョン部会の、これから20年後の100周年を見据えたまちづくりのビジョンを作っていく中で、当然ながら、環境ゼロカーボンシティ、そういったキーワードっていうものは、必然的に入ってくるものだと思っている。また、記念品についても、環境に配慮したものであるかとか、そういうものも含め、総務部のほうでも考えているようなので、実行という部分では各所にて行っている。
- しかし、文言として残すというのはおっしゃる通り大切な部分ではあるので、事務局にて取り組むべきことの加筆等について修正する。
- ③ (会長) 今回、きさらづコレクション部会で教育部も出席しているが、現在の進捗状況についてお伝えいただけるか。
- (学校教育課 今井課長) 現状については、全体の企画案を学校教育課のほうで立案し、教育長レクを終えたところ、また、きさらづコレクション運営委員会を4月21日に行う予定。そのあと実際にモデルの募集、デザインの募集を始めたといった流れになっている。

【審議結果】

原案を、環境についての配慮について記載した修正を行ったものを決定する。

議題(2) 収支予算案について

●水谷企画課長説明

(資料2に沿って説明)

本実行委員会への収入としては、木更津市から80周年記念事業の実施委託にかかる受託金3,000万円。

支出の内訳としては、運営費として実行委員会事務費が70万円。

次に、事業費として、(1)式典部会402万円。記念式典や市政功労者表彰実施等にかかる経費を想定。(2)未来ビジョン部会30万円。会議運営にかかる諸経費を想定。(3)プロモーション部会費1,438万円。記念誌と製作80周年記念期さ本の製作記念動画制作、記念品の制作等にかかる費用を想定。(4)RUNイベント部会180万円。(5)CYCLEイベント部会費280万円、(6)きさらづコレクション部会費500万円。それぞれ各イベントの開催にかかる経費としている。

最後に、予備費として100万円を計上。

【質疑応答・その他意見等】

- ① きさらぶコレクション部会でのイベント開催経費として500万円という金額で、とても莫大であると感じるが、この内容的にはどのようなことを考えているのかお聞かせ願いたい。
- 本イベントは、市内のデザイナーの鶴田さんという方の監修のもとに行われ、子どもたちをモデルに、衣装制作から市内の子どもたちで作っていくといったものだが、規模としてはモデルは30人くらいで、衣装制作の材料費から総合プロデュースまでの費用、またこれに舞台装置、ステージ、音響、当日手話通訳の人材報酬も含まれている。先方からは、本来、これくらいのファッションショーの相場としては1,000万円くらいとは聞いている。
- ② 雨天の場合でも開催は可能なのか
- 土砂降りの場合はダメだが、小雨の場合は決行可能だとは聞いている。
- ③ 予備費について、各事業を進行していく中で、予算が不足した場合、調整するという必要がある中で、予算3,000万円のなかで、100万円で大丈夫だろうかという心配がある。
- 事務局としても、予備費が100万円が妥当であるかという点については、正直言って、わかりかねるといったところであるが、予算の中でやりくりしながら、慎重に進めていきたいと考えている。

【審議結果】

原案のとおり承認

議題（3）冠称事業について

●水谷企画課長説明

先ほど承認いただいた事業計画について、市実施20事業と市民実施24事業については、冠称事業実施要領第3条の規定により、本実行委員会にて事業計画に掲げる事業については、申し込みの手続きの省略が可能となっており、そのまますべての事業を冠称事業として承認したいと考える。

なお、冠称事業の申し込みの状況については、まだ新規で申し込みはない状況。事務局としても、多くのイベントや事業に、冠称事業として参画いただき、80周年の機運を盛り上げるべく、さらに周知や、働きかけを継続していこうと考えている。

委員の皆様方やお知り合いの方におかれても、イベント等を予定されている場合など、取組方針に掲げるシビックプライドの醸成、未来ビジョンの共有、パートナーシップの実現の3つのコンセプトのいずれかに該当していると認められるものがある場合、ぜひ、申し込みの手続きを促していただくようお願いしたい。

【質疑応答・意見等】

特になし

【審議結果】

原案のとおり承認

その他（1）木更津みなとぐちアートプロジェクト2022（MINART）について

●水谷企画課長

木更津みなとぐちアートプロジェクト2022（MINART）については木更津みなとぐちアートプロジェクト実行委員会が主催する、市民実施事業として位置づけているが、市が予算を負担して実施する主要な事業であるので、事業概要や、これまでの経過報告をさせていただきたいと考える。説明については、当実行委員会の事務局を担っている、教育部文化課よりご説明申し上げます。

●小高文化課長説明

木更津みなとぐちアートプロジェクト、通称MINARTは、アートを介した教育プロジェクトとして実施する。このプロジェクトは、子どもだけでなく、大人まで多くの市民の方々に参加していただきたいと考えている。イベントのメイン会場は本市

が東京湾に面した港町、海上交通の要衝地として栄えてきたことから、木更津駅西口のみなど口から木更津港にかけてのエリア内で開催し、アートを介して木更津の新しい魅力を発信し、シビックプライド、愛着と誇りとなる様に進めていく。

開催期間は本年6月から12月にかけてで、市内小中学校を、現代アートを専門とするアーティスト達が訪れ、子供たちとの協働による作品制作や、また、エリア内の一般市民を対象としたワークショップなどを開催する。また、ワークショップは、アーティストと子供たち、そして子育て世代の親や、祖父母といった複数の世代がともに考え、作る、見せることを学びながら作品をつくり、その成果を発表する。アーティストについては、10人程度の方をお願いする予定であるが、県内や、近在の地で活躍される方を中心にお願いし、11月中旬から12月上旬にかけて作品を展示する。

このアートプロジェクトは木更津アートプロジェクト実行委員会が主体となり、共催として木更津市と木更津市教育委員会となっている。その他、後援、協賛をお願いする予定である。事務局は教育部を主体で、関係各課の課長となっている。実行委員会の構成メンバーは、会長に教育長、副会長に副市長、その他外部の方々として、6名の方に委員を、また、アドバイザーとして市長に就任をお願いしている。

実行委員会では、総会と企画運営会議を行い、総会は、実行委員会の設立時と、年度の初め及び年度末に開き、企画運営会議は必要に応じて開催する。

また事務局は、総会の開催準備や付議企画運営会議で検討された事項等について協議調整を図る。アートプロジェクトの開催に当たっては、総合ディレクターを設置し、アーティストとの調整やプロジェクト内容の企画などをお願いしている。

これまでの経緯について、本年1月13日に実行委員会を設置、設立し、4月の18日、第1回目の企画運営会議を開催。会議ではこのアートプロジェクトのロゴデザインについて、委員の方々に検討していただいている。また今月28日には、第1回目の定期総会を予定している。その総会の中で、イベントの日程や事業にかかる経費、ディレクターの任命などを協議していく。

#### その他（2）寄付の採納について

##### ●水谷企画課長説明

去る4月7日に、本市に対しまして、80周年記念事業に活用して欲しいという趣旨でご寄附があったのでご報告する。寄付者は、これまで40年以上にわたり、生活系リサイクル業務などの受託事業者として、本市の環境行政に貢献いただいている株式会社佐久間様。金額としては、500万円。

今後、本寄付金については、市での予算補正等の手続きを経て、本実行委員会においても、収支予算等で、また委員の皆様にお知らせしたいと考えている。

(事務局より)

・次回委員会について

令和4年7月13日 13:30~15:30 (予定)